


膝ドック

～変形性膝関節症になる前に～

 このような方にオススメ

- ☑運動不足
- ☑将来寝たきりになりたくない
- ☑膝の老化度を知りたい
- ☑膝に負担がかかる仕事をしている
- ☑O脚またはX脚を指摘された



【専門資格】

日本整形外科学会 整形外科専門医
日本整形外科学会 認定スポーツ医
日本整形外科学会 認定リウマチ医
日本整形外科学会 認定運動器リハビリテーション医
日本リウマチ財団登録医



■西津 真平 ■鈴木 元 (第2.4水曜日)
膝の専門医が診断いたします。

高年になると、膝の痛みを訴える人が増えてきます。それは「変形性膝関節症」が原因です。放置しておくと、痛みが徐々に増して、日常生活にも不便をきたし、やがて自力歩行が困難になり、要介護の状態になることもあります。

健診内容

膝CT (3D)
膝レントゲン

検査後、当日結果説明いたします。



膝CT(3D)



膝レントゲン

費用

5,500円 (税込)

予約方法

☎ 03-3932-9181 または 総合受付

実施曜日

第2・4水曜日
8時30分～11時30分

変形性膝関節症とは

■症状

男女比は1：4で女性に多くみられ、高齢者になるほど罹患率は高くなります。主な症状は膝の痛みと水がたまることです。

初期では立ち上がり、歩きはじめなど動作の開始時のみに痛み、休めば痛みがとれますが、正座や階段の昇降が困難となり（中期）、末期になると、安静時にも痛みがとれず、変形が目立ち、膝がピンと伸びず歩行が困難になります。



初期

立ち上がり、歩きはじめに膝が痛む(休めば痛みがとれる)



中期

歩くと膝が痛み、正座、階段の昇降が困難(動作が不自由)



末期

変形が目立ち、膝がピンと伸びず、歩行も困難(日常生活が不自由)

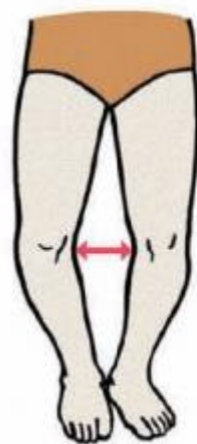
■原因

原因は関節軟骨の老化によることが多く、肥満や素因（遺伝子）も関与しています。また骨折、靭帯や半月板損傷などの外傷、化膿性関節炎などの感染の後遺症として発症することがあります。

加齢によるものでは、関節軟骨が年齢とともに弾力性を失い、遣い過ぎによりすり減り、関節が変形します。

■診断

問診や診察、時に触診で膝内側の圧痛の有無、関節の動きの範囲、腫れやO脚変形などの有無を調べ、X線（レントゲン）検査で診断します。必要によりMRI検査などをします。



O脚変形



正常

変形性膝関節症

X線(レントゲン)写真

立位で撮影すると変形が、より明らかになる

■治療

症状が軽い場合は痛み止めの内服薬や外用薬を使ったり、膝関節内にヒアルロン酸の注射などをします。また大腿四頭筋強化訓練、関節可動域改善訓練などの運動器リハビリテーションを行ったり、膝を温めたりする物理療法を行います。足底板や膝装具を作成することもあります。このような治療でも治らない場合は手術治療も検討します。